

会議録

会議の名称	西東京市図書館協議会 平成26年度第1回定例会
開催日時	平成26年5月22日（木曜日）午後3時から5時まで
開催場所	田無公民館3階会議室
出席者	委員：小西委員、鈴木委員、山田委員、山本委員、倉内委員、川口委員、足立委員 事務局：奈良館長、中村副館長、中村副主幹、吉野庶務係長
傍聴者	1名
議題	1 諸報告 2 西東京市図書館基本計画・展望計画について 3 その他
会議資料の名称	1 平成26年度図書館運営方針 2 平成25年度西東京市図書館利用者アンケート調査報告 3 西東京市生涯学習推進指針 4 西東京市教育計画 平成26年度～平成30年度 概要版 5 西東京市教育計画 平成26年度～平成30年度 6 学習活動の推進
記録方法	<input type="checkbox"/> 全文記録 発言者の発言内容ごとの要点記録 会議内容の要点記録
会議内容	
<p>会長： 定刻になりましたので、図書館協議会第1回定例会を始めさせていただきます。最初に、前回の会議録についてですが、何かありますでしょうか。 特に無いようですので、館長から諸報告をお願いいたします。</p> <p>館長： 本日は、資料が多いので、資料確認を行いたいと思います。</p> <p>○事務局： （資料を読み上げ）</p> <p>会長： 資料はお揃いでしょうか、それでは館長お願いいたします。</p> <p>館長：</p>	

資料の主な点を説明させていただきます。

「学習活動の推進」は西東京市基本計画の図書館に該当するところです。

次に、「平成26年度図書館運営方針」の重点事業ですが、

- 1 中央図書館・田無公民館の耐震補強工事実施設計委託
- 2 地域・行政資料の電子化
- 3 谷戸公民館倉庫の図書館書庫への転用
- 4 いこいな図書館バックの作成
- 5 新町分室の運営形態の検討

以上の5点となっています。

また、平成26年度の重要行政課題では、公民館・図書館の計画的改修、行財政改革の図書館については、運営体制のあり方の検討ということがあり、指定管理も含めて検討するという事になっています。

会長：

指定管理については、図書館協議会等で経済的なメリットは、本当にあるのかどうか等、反対理由をきちんと示していかなければならないと思います。

館長：

次に、アンネの日記の事件の報告ですが、13冊が被害に合いました。

結論から言うと、取り調べの最中ですので詳細はまだ未確定です。

現在、被害届を出したという形になっております。

なお、西東京市図書館としては、対象の本を閉架にすることはいたしません。

委員：

教育委員会の議事録で「はだしのゲン」のことが出ていましたが、そのことについて教えてください。

館長：

陳情が出たのですが、学校図書館が主で、「閲覧禁止」「閲覧を自由にさせてください」、というものでした。教育委員会としては、学校の裁量で行っていますので、審議をしないということでした。図書館は、閲覧の自由があるのでそのままということです。

会長：

それでは、次の議題の「西東京市図書館基本計画・展望計画について」にうつりたいと思います。

○館長：

それでは、職員組織計画について説明させていただきます。

職員組織の現状ですが、平成20年度、職員定数33人、うち司書24人、司書率は73パーセント。嘱託員数29人（年間労働時間2,000時間換算）（1,500時間換算38.7人）専任の司書採用は、平成6年度が最後。平成25年度、職員定数29人（欠員1人）、うち司書22人、司書率は76パーセント。嘱託員数30人（年間労働時間2,000時間換算）

(1,500時間換算40人)専任の司書採用は、平成24年度5人採用。

次に職員組織計画の考え方として、図書館協議会の提案①図書館サービスの継続と質の維持のために長期的人事計画の策定を急ぐこと、2.職員の資質向上のための研修計画を整備すること、3.従来 of 司書としての専門性に加え、経営感覚を併せ持った正規職員としての意識改革を進めること、となっております。

また、中間年度としてアンケートを行いました。この目的については、取り組んできた事業の成果と課題について調査し分析するとともに、利用者の意見や感想を今後のサービス向上に役立てる目的で実施しました。

調査の概要として、今年の1月15日から1月26日に行い、対象は中学生以上の図書館利用者(来館者)、回答者数は1,603人で有効回答者数は1,598人です。性別は女性が多く、市内在住者が多いです。年代は40歳代が一番多く、職業は主婦が多いです。利用館は中央図書館とひばりが丘図書館が多いです。

調査の結果として、利用頻度は週1回、月数回で60.8パーセントを占めます。また、週数回と毎日と合わせると5人に1人が頻繁に利用しています。来館目的で最も多いのは、本や雑誌、CD・テープを借りる・返すです。

利用しやすさについて、10項目の満足度と重要度を調査した結果、満足度については、「職員の対応」「職員の業務知識」「図書館の立地場所」が高く、重要度については「他の利用者のマナー」「読みたい本や雑誌の充実度」「本や資料の探しやすさ」と続きます。

会長：

西東京市図書館基本計画・展望計画の評価についてですが、ABCという評価が良いと思うのですが、コメントを付けてほしいと思います。

コメントは全てに付けるわけではなく、自分がコメントをしたい箇所についてコメントをするということで良いかと思えます。

職員組織計画の考え方については、図書館協議会の提案ですので、評価する箇所ではないです。人事計画については、基本的には、本来の計画に沿っていると思えます。

委員：

今後、効率化の方策を打ち出していけるかというのが問題だと思います。

会長：

今の職員組織計画の中で効率化は難しいと思います。開館時間を増やさなければならぬという中で、それをどう乗り越えていくか、人を増やさずにどうしていくのかという問題があります。

会長：

フル操業で業務を行うのではなく、部分的に開館していく形もあると思えます。

研修については、確実に職員の資質の向上につながっていますので、今後も月1回の研修等は継続していけばよいかと思えます。

次に意識改革のところですが、これについては、意識改革への取り組みというところでは、今後、委員の方の話や等々の研修を行っていく等していけばよいかと思

ます。また、市民の声を聴くというところでは、なかなか人が来なかったとかあったみたいですが。

館長：

書庫を見てもらう等、図書館業務を市民の方に見ていただきたいというようなことは考えているのですが、時間を確保するのが非常に難しいという点があります。

○会長：

図書館側から提案してもうまくいかないケースもあるし、市民側からの自主的な動きが一番望まれると思うのですが。

施設計画は、「公共施設の適正配置等に関する計画」の中で協議する。

各委員がここについて言いたいという箇所に、特別コメントをつけたいと思います。次回でまとめたいと思います。

委員の皆様、何か質問はありますか。

委員：

サービス計画の中で、ヤングアダルトに関するところがありません。

○会長：

抜けていますね。項目を追加いたします。

○委員：

第3次子ども読書推進の基本計画の中で、ビブリオバトルの薦めが出ていたましたが、ヤングアダルトに応用すると面白いと思うのですが。

○館長：

やりたいとは思っているのですが、高校生を集めるのは大変だと思います。

○会長：

次回あたり、学校の先生の委員がいらっしやったら、状況を聞いてみたいと思います。

○副館長：

中学校が行っている書評会では、本が指定されていますが、もっと参加させたいというのが今の段階です。図書館でも児童サービス担当が見学させていただいていますが、そこに参加する生徒は限定されているようです。ビブリオバトルを図書館が企画した時に成功するかはかなりの未知数ですが。

○館長：

色々なことを行うのは、良いのですが、どうしても図書館としては目的を考えてしまいます。

○会長：

次回は7月17日となりますが、資料を修正したものを事前に送付していただきたい
と思います。

今年度も視察研修の場所を決めたいと思います。

○副館長：

三鷹に新しい図書館ができましたのでいかがでしょうか。次回、日程等を決めたい
と思いますがいかがでしょうか。

○会長：

それでは、本日の協議会を終了いたします。